プレスリリース　　2026年11月9日
国境なき医師団（MSF）

COP31：気候変動で最も被害を受ける人びとに届く援助を

気候変動は未来の問題ではなく、すでに人びとの健康と命を脅かしている――。11 月 9 日から、トルコで国連気候変動枠組み条約第 31 回締約国会議（COP31）が開催される。これにあたり、国境なき医師団（MSF）は国際社会に対し、気候変動の影響を最も深刻に受ける国々への資金援助と医療体制の支援を急ぐよう訴える。

MSF は世界各地の活動現場で、気候変動が人びとの健康に及ぼす影響に直面している。多くの地域では、貧困や紛争、避難生活などによって人びとはすでに厳しい環境に置かれており、気候変動は、こうした状況をさらに悪化させている。

ソマリアでは干ばつで栄養失調児が増加

ソマリアでは今年、雨期に十分な雨が降らない状況が 4 期連続で続き、深刻な干ばつが起きている。農作物が育たず、多くの住民が避難を余儀なくされ、栄養失調が広がっている。南西部の都市バイドアの避難民居住地では、今年 7 月に MSF が検査した 5 歳未満の子どものほぼ半数が急性栄養失調に陥っていた。

「私たちにとって、気候変動は未来の話ではありません。すでにここで起きているのです」と、バイドア出身で、ソマリアの MSF 現地広報担当者であるヤヒヤ・モハメドは述べる。

「病院には、栄養失調の子どもたちや、干ばつですべてを失い何も持たずにバイドアへ来た家族が多くいます。ソマリアの人びとは、気候変動をほとんど引き起こしていません。それでも、気候変動の影響を受けて暮らしているのです。COP31 は、バイドアのような場所にとって意味のある決断をしなければなりません」

南スーダン、マダガスカル、キリバス――気候災害と健康への影響が顕著に

南スーダンでも、一部の地域では干ばつ、別の地域では大規模な洪水が起きるなど、深刻な気候災害が重なっている。こうした災害で農作物の収穫が大きく減り、栄養失調につながっている。

マダガスカルでは今年、長引く干ばつや不安定な季節の変化に加え、サイクロンが相次いで発生した。こうした気候の変化や災害によって、十分な食料を確保することが難しくなり、マラリアなどの病気が拡大。医療も受けにくくなっている。その結果、すでに厳しい状況にある人びとが、さらに大きなリスクにさらされている。MSF は栄養面での支援を行うとともに、地域の自然環境と人びとの生計を守りながら、住民と協力して医療を提供している。

太平洋のキリバスでは、海面上昇によって住居が浸水の危険にさらされ、地下水に塩水が混じっている。そのため、安全な飲料水を手に入れにくくなり、下痢を起こす病気のリスクが高まっている。清潔な水の不足は衛生状態を悪化させ、皮膚や目の感染症の拡大にもつながっている。一方、干ばつで生鮮食品が手に入りにくくなり、長年の栄養の問題がさらに深刻になっている。その影響は、低栄養のほか、肥満や慢性疾患といった問題にも現れている。

また、MSF の活動地の多くではエルニーニョ現象によって気候変動の影響がさらに深刻になり、健康被害や人道危機のリスクが高まると懸念されている。

深刻な影響を受ける国々への支援を

MSF は世界 70 以上の国と地域で活動しているが、その多くは、気候変動による健康被害を最も受けやすい一方で、その対応が最も遅れている国々だ。こうした国の多くは気候危機を引き起こした責任がほとんどないにもかかわらず、大きな被害を受けている。

「気候変動の深刻な影響を特に受けている人びとは、そもそもこの問題を引き起こした人ではないのです。これは極めて不公正な状況です」と MSF 国際医療主事のマリア・ゲバラ医師は語る。

気候変動の影響を最も受けるこうした国々のために、COP31 では、気候変動に備える具体的な適応計画につなげなければならない。地域の人びとと保健医療システムが、気候変動の影響に対応できるようにする計画が必要だ。

「求められるのは、変化し増え続けるニーズに対応できる保健医療サービスです。気候災害に耐えられる診療所、安定した水とエネルギーの供給、対応の準備ができた医療従事者、そして十分な医薬品と医療資材が必要です。最も深刻な影響を受けている国々は、拡大する被害に対処するための資金援助を繰り返し求めています。しかし、その支援は届いていないのです」とゲバラは述べる。

MSF は COP31 で、温室効果ガスの排出を減らすための野心的な取り組みを求める。そして、気候変動の影響に備え、災害後に保健医療システムを立て直せるよう、気候変動対策のための資金を増やすことを求める。この資金は既存の援助予算から流用するのではなく新たに用意し、最も深刻な影響を受けている人びとや地域に、確実に届けられなければならない。

以上

本件に関するお問い合わせ先：
特定非営利活動法人　国境なき医師団日本　広報担当：高橋哲子
携帯：090-5401-5176
E-mail: press@tokyo.msf.org　https://www.msf.or.jp
メディア向け X（旧ツイッター）アカウント：@MSFJ_Press